



三砂中だより

江東区立第三砂町中学校通信

令和8年4月17日発行

校長 福田克彦

うらかな春の光に包まれ、第71回入学式を挙行いたしました。149名の新入生を迎え、全校生徒が揃って令和8年度のスタートを切れたことを、心より嬉しく思います。

■「不安」は、あなた一人だけのものではありません

入学式で新入生の皆さんに、「期待と同じくらい、あるいはそれ以上の『不安』を抱えている人も少なくないはず」と伝えました。しかし、これは新入生に限ったことではありません。2年生、3年生の皆さんはどうでしょうか？

「先輩として後輩を引っ張っていただけるだろうか」「学習内容が難しくなるけれど大丈夫か」「進路に向けてどんな一年になるのか」……。学年が上がり、立場が変われば、それに応じた新しい「不安」が生まれるのは、至極当然のことです。まずはそのことを知ってください。隣にいる仲間も、一見落ち着いている先輩も、実は同じように緊張し、期待と不安の狭間にいます。その揺れ動く心こそが、新しい自分が変わろうとしている「成長のエネルギー」なのです。

■ 3年間かけて育む「より良い関係づくり」

本校では、皆さんがこの3年間を通して「人と人との関わり方」をじっくりと学べるよう、アンガーマネジメント教育に力を入れています。自分と異なる意見や価値観に出会ったとき、心に「イライラ」や「もやもや」が生まれることがあります。それは決して悪いことではありません。大切なのは、その感情に振り回されるのではなく、

○「自分を知る」：自分が何に反応し、どう感じているのかを見つめる。

○「周囲を知る」：相手にはどんな背景があり、何を考えているのかを想像する。

このステップを繰り返し、感情をコントロールする技術を身につけることで、ぶつかり合いを「対話」に変えていく。三砂中では、3年間という時間をかけて、誰もが心地よく過ごせる関係づくりを目指していきましょう。

■ 「支え合える学校」というチームを目指して

一人で抱え込んでしまうと、不安はどんどん大きくなります。だからこそ、三砂中を「支え合える場所」にしていきたいものです。そのためにはまず、「周囲の仲間のことを知る」ことから始めてください。相手が何に困り、何に喜びを感じるのかを知ることで、初めて「そっと手を差し伸べる」ことができます。困ったときは仲間に頼り、仲間が困っていれば支える。そんな温かな循環が、学校全体に広がっていくことを願っています。

<三砂中の教育理念>

(1)「入ってよかった・通わせてよかった・勤めてよかった 三砂中」
(生徒) (保護者・地域) (教職員)

子どもの幸福を第一に考えた学校経営に努める

(2)「授業の三砂中」「行事の三砂中」「部活動の三砂中」
学力の向上、行事の充実、高め合う集団づくりを目指す

(3)「チーム三砂中」(教職員)
教職員一丸、組織的な対応

こどもたちは、次代を担う貴重な存在です。中学生という多感な、そして、成長の急進期にある時代に、こどもたちを取巻く全ての大人たちが力を合わせて彼らに向き合っていくことが求められています。本校では「自分を認め、他者を認める」教育活動を推進してまいります。ご家庭・地域の皆様とも『ともに』歩んでいければ幸いです。今年度もよろしくお願ひ申し上げます。